

「新高」の受粉樹に適したなし品種

開花期が早く、結実が不安定である「新高」に適した受粉用品種について検討した結果、開花期の適合性、交配親和性の面から「鴨梨(ヤーリー)」、「にっこり」が優れていた。また、貯蔵用花粉採取のための品種としては花粉量の多い「新興」、「馬次郎」、「今村秋」が優れていた。

農業研究センター果樹研究所 落葉果樹部(担当者:北村光康)

研究のねらい

「新高」は、他の主要品種に比べて開花期が早く、結実を安定させるためには人工受粉が必須作業とされているが、人工受粉は短期間に作業が集中するため、栽培面積の拡大を阻む大きな要因となっている。

このため、「新高」に適した受粉用品種を選抜し、人工受粉作業の省力化を図る。

研究の成果

- 1 花粉の発芽率は、「新興」が最も高く、次いで「馬次郎」が高かった。また、「あたご」、「鴨梨」では他の品種に比べて低かった。
- 2 結実率は、「あたご」を除いた全ての品種で高く、「新高」との交配親和性については問題がなかった。
- 3 満開日は、「鴨梨」、「あたご」が新高より2日早く、「にっこり」が同日であったが、その他の品種は「新高」より1~4日遅かった。
- 4 短果枝の着生は、「新興」、「あたご」、「馬次郎」、「今村秋」が多かった。
- 5 開葯後の花粉量は、「新興」が最も多く、次いで「馬次郎」、「今村秋」、「鴨梨」が多かった。
- 6 採取薬量は、「鴨梨」が最も多く、次いで「馬次郎」、「今村秋」、「幸水」(トネ礼栽培)の順であった。

以上のことから、受粉樹として混植する場合は、「鴨梨」、「にっこり」が適し、貯蔵用花粉採取用としては「新興」、「馬次郎」、「今村秋」が適していると考えられた。

普及上の留意点

- 1 受粉樹を混植する場合には、園地の1割以上必要である。
- 2 新高へ高接ぎする場合には、1主枝に1側枝以上の高接ぎを行う。
- 3 受粉品種を着果させるには、その品種と親和性のある品種の花粉を用いて人工受粉を行う必要がある。

表1 新高との交配親和性および開花期

受粉 品 種	花粉 発芽率 (%)	結実率 (%)	満開日 (月/日)	短果枝 の着生
新 高	-		4/ 8	多
新 興	89	100	4/11	多
幸水(トナリ栽培)	65	93	4/ 9	少
にっこり	60	100	4/ 8	少
あ た ご	34	0	4/ 6	多
新 星	61	100	4/12	中
馬 次 郎	71	87	4/10	多
今 村 秋	67	100	4/10	多
鴨 梨	44	100	4/ 6	中

表2 なし品種による花粉量及び葯量の違い

受粉 品 種	花粉量	1花当たり 葯数 (個)	葯重 (g/50花)
新 興	多	25.2	0.881
幸水(トナリ栽培)	やや多	31.5	1.127
にっこり	少	21.6	0.725
あ た ご	極少	18.3	-
新 星	中	24.3	0.786
馬 次 郎	やや多	18.2	1.217
今 村 秋	やや多	25.0	1.167
鴨 梨	やや多	23.3	1.409